

# AIホスピタル

医療の未来を、この地域から動かす病院



# AIとテクノロジーが実現する、温かい医療

AIホスピタルは、AI・ロボティクス・スマートシティ基盤を集結させ、医療スタッフの負担を劇的に軽減しながら、患者アウトカムを最大化する次世代の病院モデルです。今、日本の地域医療は崩壊の危機にあります。医師不足、看護師不足、救急の逼迫——しかし、AIホスピタルは負担の軽減だけでは終わりません。「もっと温かい医療ができるようになる」これこそが、AIホスピタルが目指す姿です。



## ゼロ待ち医療

スマホで自動チェックイン、自動会計で待ち時間ゼロ。看護コンシェルジュが優しく案内、健康や生活相談にのります。



## AI診療支援

ガイドライン・論文の瞬時検索、音声入力でカルテを自動生成。医師は患者の目を見て話す時間を取り戻します。



## アウトカム改善

治療とADL維持の二軸で計画を作成。毎日データを解析しリバイス。再入院率が下がり、退院後の生活の質が上がります。



## 5G × 遠隔ロボット手術で、高度医療を地域完結へ

ダヴィンチ等のロボットを用いて専門医が遠隔手術支援。





# スマートシティと連携する病院

## 街そのものが「医療」になる未来

AIホスピタルは単なる病院ではありません。スマートシティとつながり、街全体が医療の延長線上にある「ヘルスケインフラ」に生まれ変わります。

### リアルタイム医療都市

ウーブンシティのセンサー・IoT・PHRが病院のAIと連携することで、転倒や異常を街が自動で検知。健康データをAIが解析し、予防から急性期までつながります。病気になってからではなく、病気を未然に防ぐ街へ。

### AI救急ネットワーク

救急車、病院、在宅、監視が一体化。バイタル・音声・映像が搬送中から共有され、病院は到着前に準備完了。救急が早く、正確に、安全になります。



### 自動運転×医療

自動運転が通院をサポート。高齢者が一人でも安心して受診できます。

### 街×医療の連携

再入院率の減少、急変の早期発見、健康寿命の延伸、医療費の最適化が進みます。

### 遠隔ロボット手術

ダヴィンチ等のロボットを用いた遠隔手術支援。専門医がリアルタイムで手技を補助し、地域で安全に外科治療を完結します。



## 地域の救急医療を助ける病院 地域の命を守る最後の砦へ

裾野・御殿場の救急は今、崩壊の危機です。救急車が受け入れられない。軽症でも断られる。胆石でさえヘリ搬送される。この現状を変えるために、AIホスピタルは「地域を救う救急拠点」として設計されています。

01

### AIトリアージで「断らない救急」を実現

AIが救急隊の音声・バイタル・映像を解析し、到着前に重症度・必要科・受け入れ可否を自動判断。医師不足でも受入件数が最大化し、たらい回しゼロへ。

03

### 「地域で手術できる時代」へ

ヘリ搬送されている外科疾患を、AI×ロボット手術で地域完結へ。AIが緊急度を判定し、ダヴィンチ等ロボットを専門医が遠隔支援。もう、胆石でヘリを飛ばす必要はありません。

02

### 小児救急を「まず受ける病院」へ

呼吸音、泣き声、発疹などをAI解析。初期トリアージが精密化し、必要時は専門医が遠隔で診療に参加。「専門医がないから受けられない」時代を終わらせます。

04

### AI救急ネットワークで搬送が劇的に早く

データが搬送中に病院へ。到着前に救急室の準備完了。必要な医師・看護師が即時集まり、地域の救命率に直結します。

「どの世代も安心して暮らせる」——そんな当たり前を、もう一度取り戻すための病院です。